

『東亜』2020年7月号目次 「特集：コロナ後の世界で「攻勢」かける中国」

■特集 コロナ後の世界で「攻勢」かける中国

- * コロナショックと米中対立の激化で危機に立つ中国経済 近藤大介
- * 新たな国際秩序形成を目指す中国の挑戦 三船恵美
- * 新型コロナのパンデミックで試された二つの新しい潮流 笹沢教一

■ASIA STREAM (2020年5-6月)

- * 中国の動向 香港国家安全維持法で「一国二制度」は風前の灯 濱本良一
- * 台湾の動向 韓国瑜高雄市長のリコールが成立 門間理良
- * 朝鮮半島の動向 韓国社会の「純化」を企図する文在寅与党と北の超強硬姿勢 小針進

■COMPASS

- * 習近平体制にとっての香港とは 古谷浩一
- * 世界規模での米軍の態勢見直し アジアへの影響は？ 村野将
- * 露店、村官、ギグエコノミー…新型肺炎下の中国雇用対策 高口康太
- * メガ都市バンコクのダイナミクスとジレンマ [2] 遠藤環

■マカオは今 [58]

- * カジノ王が遺したもの 塩出浩和

■Book Review on Asia

- * 『日中戦後外交秘史-1954年の奇跡-』（加藤徹 林振江著） 嵯峨隆

■Briefing Room

- * デジタル化によるインドのコロナ対応 飯田玲子

■CHINA SCOPE

- * 各国の翻訳家たちとの交流を通じて 泉京鹿

■チャイナ・ラビリンス

- * 新型コロナ「制圧」で深めた中国の自信 高橋博

■企画連載 香港における中国的価値観の受容と抵抗 (第4回)

- * 香港人は香港製品を使おう 村井寛志

—1950-60年代の「香港人」をめぐる言説史—

■巻頭言

- * コロナが引き起こした中国経済の分断 後藤康浩

■New Publications on Asia